

第 9 1 回

2015 9 / 30 水 18:00 - 19:00

モダレーター：熊ノ郷 淳（大阪大学大学院医学系研究科 副研究科長）

記憶情報の脳内表現の可視化と操作

未 来

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター 1F
マルチメディアホール
19:10～情報交換会：1F ホワイエ



松尾直毅

大阪大学大学院

医学系研究科 分子行動神経科学 独立准教授

医 療

主催：大阪大学大学院医学系研究科

共催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム

　　大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業

大阪大学医学部附属病院未来医療センター

私たちの日々の経験により得られる記憶情報が、
どこで、どのように表現されているのか？という記憶
痕跡に関する素朴な疑問は古来より多くの哲学者、科
学者を魅了してきた。

私たちはimmediate early genesのひとつc-fos遺伝子
のプロモーターを利用したトランスジェニックマウス
の開発を行い、脳の各階層における記憶痕跡の可視化
とその解析を行ってきた。さらに、神経活動を操作す
る遺伝学的手法を組み合わせることにより、記憶情報
を担う特定の神経細胞群の活動制御を介した記憶の操
作を行うことも可能となりつつある。本講演では、こ
れらの技術を活用した私たちの研究を紹介し、記憶の
脳内表現と、その行動表出の制御の仕組みについて議
論を交わしたい。

セ ミ ナ ー